

## 平成 28 年度当初予算の政策的新規・充実事業予算の要求内容と査定結果について

平成 28 年度予算は、社会経済情勢、市会での審議及び市民の皆様の御意見、行政評価の結果や「はばたけ未来へ！京プラン」後期実施計画の検討内容も踏まえ、あらゆる観点から検討を行い、編成を進めてまいりましたが、予算案が確定しましたので、平成 27 年 12 月 1 日に要求内容を公開した「政策的新規・充実事業予算」について、査定結果を公表いたします。

- ◆ 「予算要求の内容」については、要求公開時点の内容を記載しています。(①要求公開時点で要求額を「未定」としていた事業及び②その後要求があった事業については、それぞれ要求が確定した時点の内容を記載しています。)
- ◆ 予算編成の過程において、事業の名称・内容を変更しているものや、査定額が要求額を上回っているものがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。
- ◆ 最終的な予算内容については、今後市会での審議のうえ、議決を得て、確定することとなります。
- ◆ 査定結果や査定理由については、次のとおりです。

### 1 「事業を実施するもの」 表 1 のとおり

この一覧表は、①政策的新規・充実事業予算として予算措置を講じた事業、②局配分枠予算等により政策的新規・充実事業予算以外の予算で実施する事業を掲載したものです。査定内容は、次のとおりに類型化して記載しています。

- 要求どおり  
所管局の要求どおりとしたもの
- 積算内容精査（積算単価の精査，数量等の精査）  
既存事業の実績等を踏まえ，所要額の精査を行ったもの
- 事業内容精査（事業手法の精査，規模の精査，年次割の精査）  
事業手法，実施時期・箇所等事業内容の精査を行ったもの

### 2 「事業実施を見送ったもの」 表 2 のとおり

この一覧表は、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため実施を見送った事業を掲載したものです。「検討が必要な事項」欄は、次のとおりに類型化して記載しています。

- 公民等役割分担の検討
- 既存施策との整合性検討
- 事業内容・実施手法の検討
- 後年度財政負担の検討

平成28年度当初予算における政策的新規・充実事業予算の要求内容と査定結果（総括表）

（単位：千円）

区分	予算要求		事業を実施するもの （下段括弧書きは交付金活用による補正分で内数）				事業実施を見送ったもの	
			政策的新規・充実事業 予算で予算措置したもの		局配分枠予算等により実施 するもの			
	事業数	要求額	事業数	予算額	事業数	予算額	事業数	要求額
環境政策局	6事業	284,800	6事業	217,800	-	-	-	-
行財政局	8事業	799,600	7事業	725,600	-	-	1事業	35,000
総合企画局	18事業	626,400	16事業 (1事業)	579,200 (20,000)	2事業	22,500	-	-
文化市民局	19事業	1,290,700	16事業	851,100	1事業	5,000	2事業	22,000
産業観光局	36事業	693,700	35事業 (4事業)	495,100 (41,600)	1事業	3,000	-	-
保健福祉局	36事業	4,264,700	36事業	4,259,500	-	-	-	-
都市計画局	15事業	2,180,900	15事業	1,715,200	(注3) -	566,000	-	-
建設局	16事業	7,151,300	11事業	6,664,400	1事業	2,000	4事業	71,400
消防局	5事業	173,000	5事業	171,000	-	-	-	-
交通局	1事業	357,000	1事業	119,000	-	-	-	-
教育委員会	19事業	1,538,000	17事業	869,300	1事業	74,100	1事業	54,200
合計	179事業	19,360,100	165事業 (5事業)	16,667,200 (61,600)	6事業	672,600	8事業	182,600

注1 要求額は、原則として要求公開時（平成27年12月1日）の額を記載しているため、予算編成過程における変更により、予算額が要求額を上回っている場合がある。

注2 要求公開時に要求額が未定であった事業は、その後の要求額を記載している。

注3 「政策的新規・充実事業予算」で一部措置している事業については、「局配分枠予算等」では事業数に算入しない。